

呉市企業の今期の景況は、前期に比べ回復する動き見られる
 - 人手不足・原材料価格の上昇など先行きは楽観視できない状況 -

- ・調査方法 郵送によるアンケート調査
- ・調査内容 景況のほか、生産額・売上額など10項目について
- ・平成27年12月を前年同月と比較
- ・平成28年1月～3月の先行き見通しを平成27年12月と比較
- ・調査時期 12月中・下旬
- ・調査対象 呉市内の業種別主力企業100社
(回答82社、回収率82%)

・12月の景況を見ると、下の表の通り、
総合(全業種)DI(良い-悪い)は△14.6→△6.1と、全体では前期に比べ、+8.5と上昇の推移。
業種別では、**製造業**は、約8.3割の企業が横ばいの回答で、DIは△7.0→2.3と改善した。
非製造業は、約7.4割の企業が横ばいの回答で、DIは△25.0→△15.4と上昇した。

【DI方式について】
 DI(ディフュージョン・インデックス)は、各調査項目について判断の状況を示す。
 ゼロを基準として、プラスの値は景気の上向き傾向(「良い」)をあらわし、マイナスの数値は景気の下向き傾向(「悪い」)をあらわす。
DI = (増加・好転等「良い」の回答割合)
 - (減少・悪化等「悪い」の回答割合)

・1～3月の先行き見通しでは、
総合(全業種)DIは△14.7→△12.2と、前回予測から+2.5と上昇する見通し。
業種別では、**製造業**は、DIは△16.3→△9.3と改善する見通し。
非製造業は、DIは△12.5→△15.3と悪化の見通し。

総合(全業種)では、△14.6→△6.1と、呉市の景況は前期に比べ、+8.5と改善の推移。来期は△14.7→△12.2と、前回予測から少し上昇する見通し。

業種別概況は、製造業・非製造業共に改善の推移となった。12月調査による1～3月先行きDI数値は、9月調査による10～12月先行き見通しに比べて製造業は改善の見通しで推移する予測だが、非製造業は少し悪化する見通しとなった。

呉市の景況は、全体的に今期は回復の動きが見られる。製造業は、受注量の増加に伴い設備投資や人員増加などの動きが見られるも、円安の影響により原材料価格が依然として高く、販売価格の低下により収益が圧迫される状況が続く。また、造船業は中国経済の影響もあり受注量が減少傾向となっている。非製造業は、暖冬の影響により衣料品、住居用品の下落や、食料品等の価格競争が激しく収益が厳しい状況。

来期の景況については、人手不足や原材料高など、売上が低下している状況が続き、先行きは楽観視できない状況が伺える。

業種別景況DI

	27年 9月実績	27年 12月実績	今 期			9月調 10～12月 見通し	12月調 1～3月 見通し	来 期		
			回答社数構成比 (%)					回答社数構成比 (%)		
			好転	横ばい	悪化			好転	横ばい	悪化
総合(全業種)	△14.6	△6.1	7.3	78.0	13.4	△14.7	△12.2	2.4	78.0	14.6
製造業	△7.0	2.3	9.3	83.7	7.0	△16.3	△9.3	2.3	76.7	11.6
非製造業	△25.0	△15.4	5.1	74.3	20.5	△12.5	△15.3	2.6	79.5	17.9
建設業	△14.3	△11.1	22.2	44.4	33.3	△28.5	△22.2	0.0	77.8	22.2
卸売業	△27.3	△14.3	0.0	85.7	14.3	△9.1	△7.1	7.1	78.6	14.3
小売業	△30.0	△20.0	0.0	80.0	20.0	△20.0	△20.0	0.0	80.0	20.0
サービス業	△25.0	△16.7	0.0	83.3	16.7	25.0	△16.7	0.0	83.3	16.7

